

秋のお彼岸法要のご案内



今夏は今まで経験したことのない記録的猛暑でした。朝夕は涼しくなりましたが、日中は蒸し暑い日が続いています。皆さまいかがお過ごしですか？

さて、秋のお彼岸法要を左記のように勤めます。今回も距離をとって座れるように、地区ごとに振り分けしておりますので、できれば表の左下の日にお参りくださるようお願い致します。当日のご都合が悪い場合はいずれの日でも構いません。

※マスクの着用をお願いします。

お茶は各自ご持参ください。

合掌

記

一、日時 九月三十日(土)、十月一日(日)の二日間

一、講師 瓜生 崇 先生

滋賀県東近江市 玄照寺住職 響流書房代表

浄土真宗の法話案内運営製作(ウエブサイト) 浄土真宗の法話配信(YouTube)



期日	法座	地区
9月30日(土)	午後1時30分	伊良原・横瀬・上木井・下木井・犬丸・内垣・下本庄・松坂・他地区※
10月1日(日)	午後1時30分	上本庄・鏡畑・上高屋・他地区※

※他地区とは、豊津・築上・行橋・苅田・田川・北九州等です。

コロナ対策として

- マスクの着用をお願いします。
- お茶は各自ご持参ください。
- 法座は2日間午後のみです。
- 出来れば地区指定の日にお参りください。
- 本堂の椅子は余裕をもって配置し、換気に努めます。
- 体調の不安がある場合はご遠慮ください。

法座予定

二〇二三年

●ご正忌・報恩講

十一月二十一日(火) 二十三日(木)

講師

21日 加来哲也 明秀寺住職

22・23日 寺本温 四日市別院輪番

二〇二四年

●春彼岸法要

三月二十三日(土)、二十四日(日)

北嶋文雄・筑前町光蓮寺住職

●皆作・永代経法要

六月二十九日(土)、三十日(日)

舟川智也・行橋市両徳寺住職

●秋彼岸法要

九月二十八日(土)、二十九日(日)

瓜生 崇・滋賀 玄照寺住職 (各ご講師の敬称略)

世話人会議報告

皆作世話人会



日時 2023年6月18日(日)

午後 12時半〜13時15分

出席者

責役・総代4名、世話人16名

議題

- ①本山納金について
- ②本堂屋根工事に関して

決定事項

- ①本年度の本山納金は4,000円。秋彼岸に納めていただくことになりました。宜しくお願い致します。
- ②各ブロック2名ずつ検討委員を選出することにして、この日に各ブロックの委員が決まりました。

お寺の活動



6/20 京都組教化委員会、商工会議所



6/12 京都組幹事会、浄喜寺



6/14 女性門徒役員会、善徳寺



皆作法要6/17



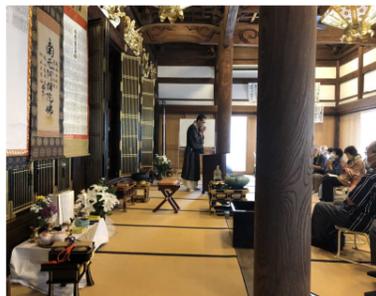
7/11 犀川女性門徒の会、龍王寺



皆作法要6/18



7/28 浄真寺掃除おみがき



8/28 二十八日講、念信寺



8/14 お盆で久しぶりに！



8/16 盆踊り



8/7 組会、真念寺



二十八日講



8/24 所長巡回、浄喜寺



あとがき

今回、前坊守・悦美の追悼号で原稿を依頼してわかったことは、皆さんが坊守をどのように呼んだらよいかの呼称と人の死にどのような言葉を使うかの問題にとまどっておられるということでした。

母の場合、基本的に「奥さん」と呼ばれていました。しかし若い人は「おばちゃん」「おばあちゃん」と言う方もいます。呼び名は関係により変わっていきます。

人の死に対しては、一般的な慣用語として「冥福をお祈りします」が使われます。しかし、「冥福」とは冥土の幸福という意味で、亡くなることは冥土という冥界に行くことだという意味なので、浄土真宗では使えません。亡くなることは、分別・迷いの世界から浄土という本来・一如の世界に帰ることだと考えるからです。

浄土真宗の言葉、例えば「浄土往生」が床の間に飾られていて生活の言葉として使われていない。それは人の死をどのように受けとめるのかが、はっきりしていないことなのだ実感しました。

